

平成21年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	福岡県における若年者雇用のミスマッチ解消プログラムの開発		
法人名	社団法人 福岡県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	戸早 秀暢	担当者 連絡先	廣門 真知子
1. 事業の概要			
<p>本事業は、企業のニーズと学生のスキルをマッチングさせ、雇用の安定を図ることを目的に、キャリア教育のための教育教材を開発するものである。</p> <p>初めに福岡県、福岡商工会議所、福岡県雇用対策協会、(株)インテイジェンス、NPO法人九州キャリアコンサルタント協会と福岡県専修学校各種学校協会・就職委員会のメンバーによる実施委員会を設置し、企業側と学生側の双方のニーズを調査した。</p> <p>この調査結果に基づいて教育教材の構成を検討し、具体的な開発を進めた。教材の名称は学生のモチベーションを高める効果を期待して「就勝ガイド～就職活動の整理学」とし、学生の目線に立つ内容となるよう努めた。その後、開発した教材を用いて授業を行い、受講した学生の理解度を検証する場として合同企業説明会を開催した。</p> <p>授業と合同企業説明会終了後には、成果を分析するため、それぞれアンケート調査を実施した。これらの分析結果を基に、事業報告書をまとめ、成果報告会を開催して成果の普及に努めた。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①開発したプログラム・教材・教育手法等の概要			
<p>福岡県における若年者雇用のミスマッチを解消するために、教材開発をした。社会の繁栄に伴い多様な職種（職業）がある中で、学生は職業選択に迷い、さらに“働く意義”や“自分自身を理解する”ことに十分な時間をかけないで就職活動をし、雇用のミスマッチの要因になっている。このような状況を踏まえ、本書は大きく分けて「就職活動」と「キャリア形成」の2部構成とし、教材のタイトルは「就勝ガイド」とした。</p> <p>第1章「就職の流れ」では、主な業界の動向・就職活動の時期・必要な資格などを取り上げ、さらに地元企業の経営者などの声を実際にヒアリングし、企業アンケートも参考にして、“求められる人材”を整理した。</p> <p>第2章「キャリア形成」では、“なぜ働くのか”をキャリアコンサルタントの視点からまとめた。学生に分かりやすく会話形式にし、読むことにより理解を深めるとともにワークシートを挿入し自己理解・自己PRの素材になるように工夫した。</p> <p>第3章「就職活動Q&A」では、学生アンケートの結果を踏まえながら学生が直面する代表的な問題を取り上げ、質問形式で整理した。</p> <p>第4章「先輩の就職活動体験談」では、学生と同年代の先輩がどのように企業を選択し、どのような就職活動をしたのかを実際にヒアリングし整理した。さらに先輩から後</p>			

輩の学生に伝えるメッセージとして、入社後の仕事で辛かったこと・良かったこと等を追加し就職活動をより身近なこととして提起した。

第5章「求人情報の見方」では、学生が見落としがちな雇用形態（試用期間など）、勤務条件などを取り上げ、特に給与支給額から引かれる健康保険料など各種保険に関して記述し、社会人としての基礎知識が身につくようにした。

最後に、インターネットなど情報が氾濫しスピードが早くなり、自分自身で考える時間が不足がちな学生のために、本書では「就職活動の整理学」を副題とし、学生が自ら“情報の整理”と“自己理解”を深められるように考慮した。

②ニーズ調査等（手法・期間・効果）

教材開発の参考資料として下記の方法でニーズ調査を行った。

(1) 福岡県の企業を対象に求められる人材を把握するため「企業アンケート」を実施した。

期 間：平成21年6月24日～7月16日

回答数：124社

(2) 福岡県の企業人事担当者と専門学校就職担当者との意見交換会を実施した。

日 時：平成21年7月30日（木） 16:00～18:40

会 場：福岡ガーデンパレス ガーデンホール

参加者：企業30社35名 専門学校31校40名

(3) 協会会員の専門学校生を対象に就職に関する意識調査「学生アンケート」を実施した。

期 間：平成21年9月2日～9月20日

回答数：48校 3,869人

③実証講座の状況

(1) 次年度就職年次となる学生を対象に、希望する専門学校（モデル校）において、開発した教材「就勝ガイド」を活用した授業を実施した。学生に考えさせる“グループワーク”の方法も取り入れ、就職活動の動機付けおよび就職意識の高揚に繋げた。

＜モデル校＞

F・C 涸上医療福祉専門学校 KCS 北九州情報専門学校 麻生塾福岡校 九州観光専門学校 久留米工業技術専門学校 公務員ビジネス専門学校 香蘭ファッションデザイン専門学校 専門学校九州スクールオブビジネス 専門学校九州テクノカレッジ 専門学校九州デザイナー学院 専門学校九州ビジュアルアーツ 専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ 専門学校西日本アカデミー 専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス 専門学校福岡ビジョナリーアーツ 日本ウェルネススポーツ専門学校 福岡医健専門学校

(2) 「実証講座」を受講した学生たちの理解度を検証する場として、「合同企業説明会」を開催した。40の企業に対して約1,350名の専門学校生が参加した。厳しい就職戦線を象徴するように会場は熱気に包まれ、採用担当者に対し熱心に質問をする学生の姿が随所に伺えた。

日 時：平成22年2月10日（水） 12:00～17:00

会 場：博多スターレーン ダイヤモンドホール

④その他

- (1)各専門学校で実証講座を円滑に運営できるよう就職指導者研修会を開催した。
- ・福岡会場 11月18日(水) 福岡ガーデンパレス 54名参加
 - ・北九州会場 11月25日(水) 小倉興産KMMビル 18名参加
- (2)実証講座のうち「合同企業説明会」については、マスコミ各社へ報道依頼し、NHK福岡放送局、朝日新聞、読売新聞、西日本新聞より取材があり、TV放送、新聞記事として掲載され、事業への取り組みを幅広い層へ伝えることができた。

3. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

教材「就勝ガイド」を活用したキャリア教育の成果を測るため、授業を受けた学生及び指導教員へアンケート調査を実施した。また、合同企業説明会の参加企業へもご協力いただき、外部評価を行った。(いずれも回答は5段階評価)

受講者の評価は「参考になった」と「やや参考になった」の計が約83%、指導教員の評価は「使いやすい」「やや使いやすい」の計が約65%と概ね好評であった。

合同企業説明会の参加企業の評価は「大変良くなった」「どちらかと言えば良くなった」の計が60%となり、残りは「変わらない」「わからない」の回答で、マイナスの評価は1社もなかった。

②事業の成果

今回のテーマ「福岡県における若年者雇用のミスマッチ解消教育プログラムの開発」では、学生のキャリア教育を支援する目的で教育教材「就勝ガイド」を制作した。

アンケートの集計結果にもみられるように教材を活用した授業は概ね好評であった。

特に合同企業説明会の参加企業からは、昨年より熱心であったとの評価をいただき、事業の目標は、ほぼ達成できたと思われる。

今回は実証講座として、各専門学校での授業時間が約2時間と短時間であったため、次年度以降は、もっと積極的に活用していけば更に充実したキャリア教育を実践できるのではないかと期待される。

③次年度以降における課題・展開

平成21年度は本事業で開発した教材を一部のモデル校において活用したが、実験的に2時間程度の授業だったため、十分な指導時間の確保が出来なかったと思われる。実施した指導教員のアンケートからは、次年度以降も引き続き活用したいとの積極的な回答が多くみられ、今後は年間を通じて積極的に本教材を活用してキャリア教育を推進していきたい。

将来、我が国における労働人口の減少は避けられない状況にあり、いっそう人材の質が求められる時代となる。今後ますますキャリア教育の重要性が高まることは言うまでもなく、本事業の成果を足がかりに、職業教育機関としての専修学校の機能を果たしていきたい。

④成果の普及

事業の成果の普及を目的として事業報告書を作成し、成果報告会を開催した。

(1) 成果報告会

日 時：平成22年3月8日（月） 15:00～17:00

会 場：福岡ガーデンパレス 宝満の間

参加者：企業8社11名 専門学校12校21名

(2) 事業報告書

作成数：500部

配付先：福岡労働局、福岡県、福岡学生職業センター、福岡商工会議所、
福岡県雇用対策協会、福岡県若者しごとサポートセンター、
協会会員、県内高等学校、都道府県協会、その他